

# 平成26年度 旭区区民意識調査

調査結果報告書

(概要版)



「旭区マスコットキャラクター あさひくん」

平成27年1月

横浜市旭区

## 目 次

I. 調査概要 .....	1
II. 回答者の属性.....	2
III. 集計分析結果.....	6
1. 旭区の住み心地について.....	6
2. 生活環境について.....	9
3. 心配ごとや困りごとについて .....	11
4. 防災について.....	12
5. 普段の買い物について .....	13
6. 近所つき合いや交流について .....	14
7. 地域の活動への参加及び参加意向について .....	17
8. 自治会・町内会活動について .....	19
9. 旭区内の公的施設の利用について .....	20
10. 健康について .....	21
11. 将来の旭区が目指す姿について .....	24
12. 旭区役所の取組についての意見、提案 .....	25

## I. 調査概要

- ◆目的：旭区内にお住まいのすべての方が安全・安心に暮らし続けられ、今後も住みよいまちづくりを進めるための基礎資料として活用することを目的とする。
- ◆調査対象：住民基本台帳・外国人登録原票を基に20歳以上の男女無作為抽出 3,000人
- ◆調査方法：郵送によるアンケート形式
- ◆調査期間：平成26年9月18日～10月6日
- ◆回収数：1,687件（回収率56.2%）

### ◆集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

### ※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（n=1,687）。

### ※クロス集計表の見方

濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、白抜き文字にしている。

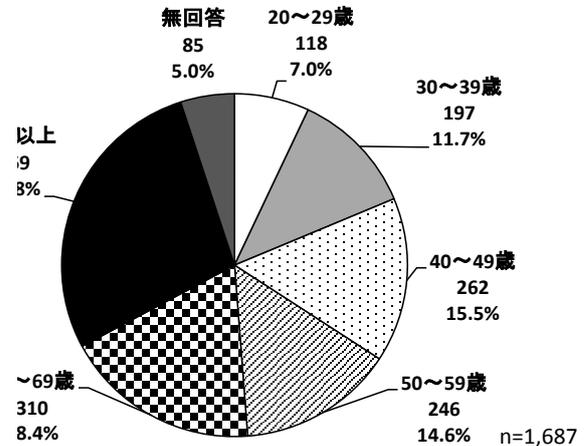
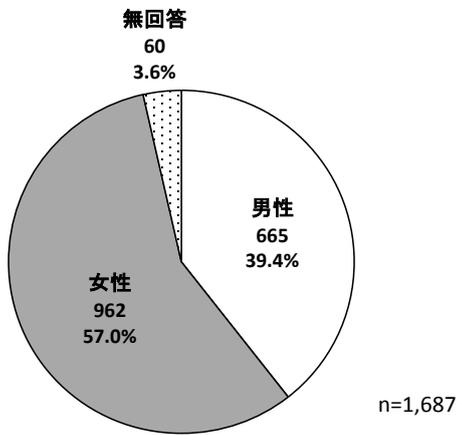
薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、区全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

## II. 回答者の属性

### 性別(F1)

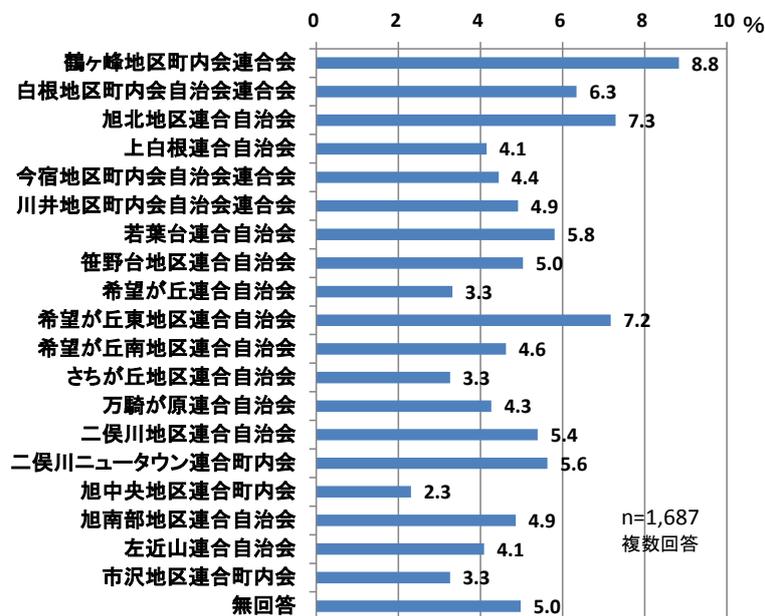
- ・女性 57.0%、男性 39.4%で、女性が 17.6 ポイント多い。
- ・「70 歳以上」が最も多く 27.8%、最も少ないのは「20～29 歳」の 7.0%である。

### 年齢(F2)



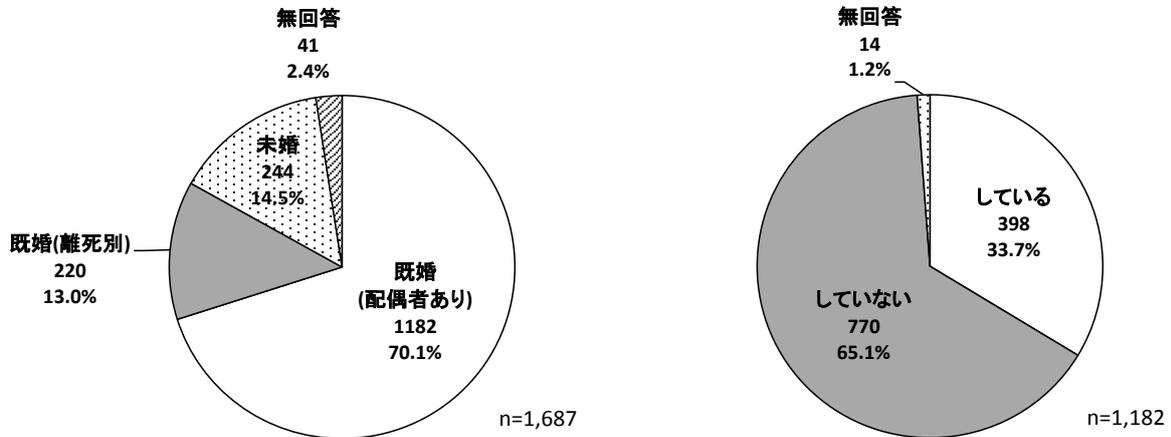
### 居住地区(F3)

- ・「鶴ヶ峰地区町内会連合会」が 8.8%で最も多く、次いで「旭北地区連合自治会」(7.3%)、「希望が丘東地区連合自治会」(7.2%)である。最も少ないのは「旭中央地区連合町内会」の 2.3%である。



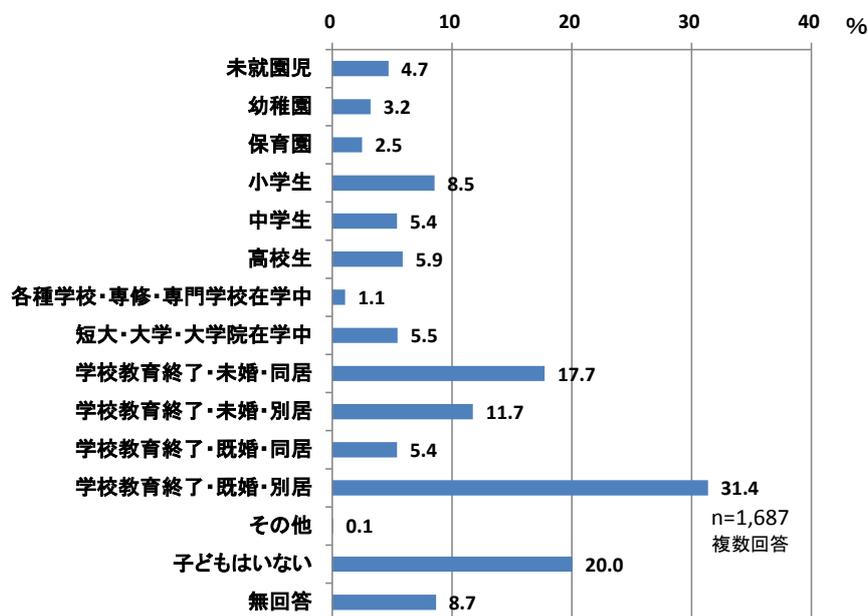
### 婚姻の有無(F4)、共働きの有無(F4-1)

- ・婚姻の有無では、「既婚(配偶者あり)」が 70.1%で全体の約7割を占める。「未婚」は 14.5%、「既婚(離死別)」は 13.0%で、ほぼ並んでいる。
- ・「既婚(配偶者あり)」と回答した人に共働きをしているかどうか尋ねると、「していない」は「している」の倍近くに達し、65.1%となっている。「している」は 33.7%で全体の約3分の1である。



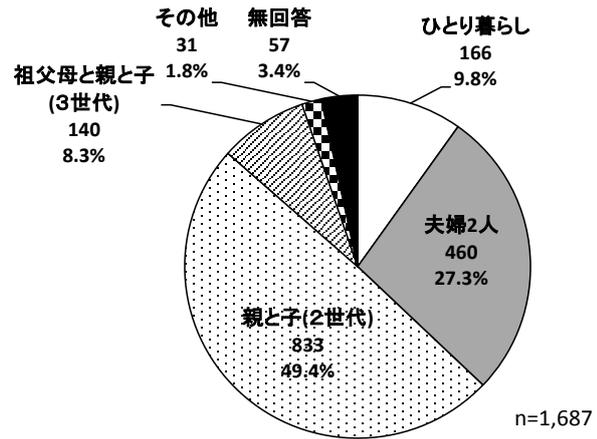
### 子どもの有無と段階(F5)

- ・「学校教育終了・既婚・別居」が最も多く 31.4%、次いで「子どもはいない」(20.0%)、「学校教育終了・未婚・同居」(17.7%)と続く。



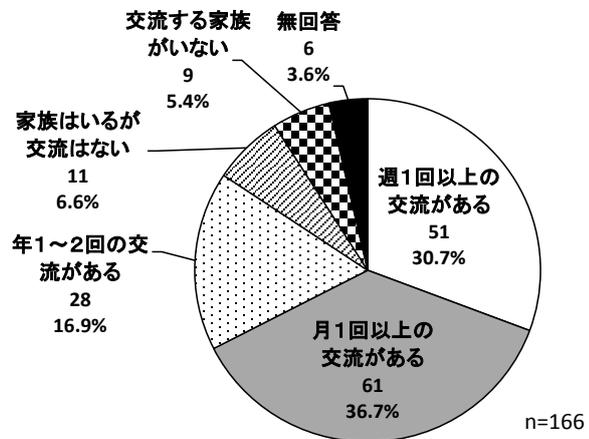
### 家族構成(F6)

- ・「親と子(2世代)」が49.4%で最も多く、全体の約半数を占める。次いで「夫婦2人」が27.3%で3割弱である。以下「ひとり暮らし」(9.8%)、「祖父母と親と子(3世代)」(8.3%)、「その他」(1.8%)となっている。



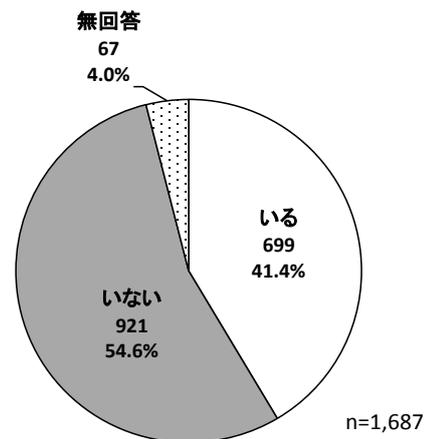
### 単身世帯の家族との交流(F7)

- ・ひとり暮らしの世帯と家族との交流は、「月1回以上の交流がある」が最も多く36.7%で、全体の3分の1強となっている。次いで「週1回以上の交流がある」が30.7%で、これらを合わせると月1回以上交流している人が7割弱となっている。次いで「年1~2回の交流がある」(16.9%)、「家族はいるが交流はない」(6.6%)、「交流する家族がない」(5.4%)となっており、1割強が家族との交流がないとしている。



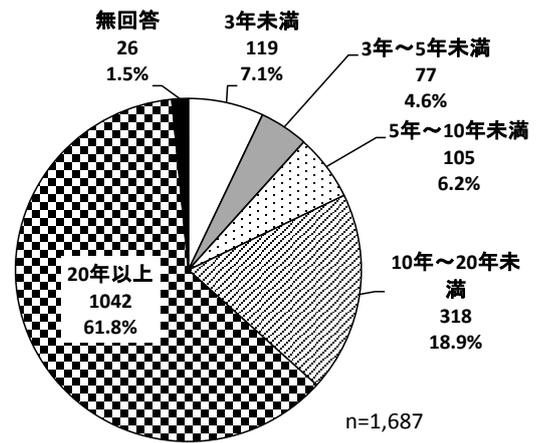
### 65歳以上の同居家族の有無(F8)

- ・65歳以上の同居家族は「いない」が54.6%で過半数に達しているが、「いる」も41.4%と4割を超えている。



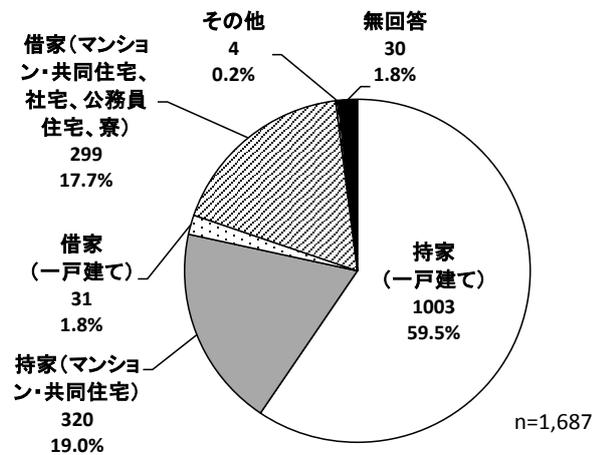
### 居住年数(F9)

- ・「20年以上」が61.8%で、全体の6割以上を占めている。次いで「10年～20年未満」が18.9%で、全体の約8割が居住年数10年以上となっている。以下「3年未満」(7.1%)、「5年～10年未満」(6.2%)、「3年～5年未満」(4.6%)となっている。



### 居住形態(F10)

- ・「持家（一戸建て）」が59.5%で最も多く、約6割を占める。次いで「持家（マンション・共同住宅）」が19.0%で、これらを合わせると78.5%と、持ち家比率は8割弱となっている。以下「借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」(17.7%)、「借家（一戸建て）」(1.8%)、「その他」(0.2%)の順である。

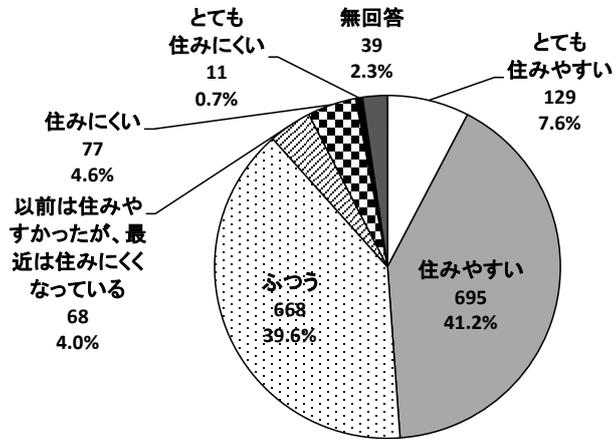


### Ⅲ. 集計分析結果

#### 1. 旭区の住み心地について

問1 あなたは、旭区の住み心地をどう思われますか。(○は1つ)

- ・「住みやすい」が最も多く 41.2%で全体の4割強、次いで「ふつう」が39.6%で約4割となっている。「とても住みやすい」「住みやすい」を合わせると48.8%で、全体の半数弱が住みやすさを感じている。一方「以前は住みやすかったが、最近住みにくくなっている」「住みにくい」「とても住みにくい」を合わせると9.2%で、住みにくさを感じているのは1割弱である。



n=1,687

- ・20、30歳代と70歳以上では「ふつう」、40～60歳代では「住みやすい」が最も多くなっている。
- ・平成23年度調査と比較すると、40歳代で「住みやすい」が6.4ポイント上昇し、「とても住みやすい」「住みやすい」の合計も40歳代で7.6ポイント、30歳代でも4.8ポイント高くなっており、30歳代、40歳代で住みやすさが上昇している。

年齢別 旭区の住み心地 (問1×F2)

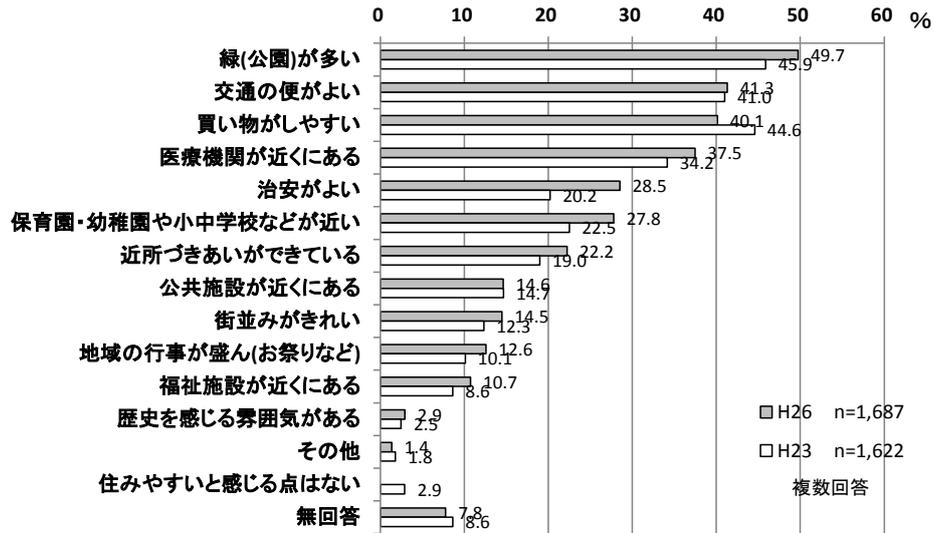
	合計	問1 旭区の住み心地							住みやすい (*1)	住みにくい (*2)	
		とても住みやすい	住みやすい	ふつう	くたが、最近住みにくくなっている	以前は住みやすかったが、最近住みにくくなっている	住みにくい	とても住みにくい			無回答
全体	1687	7.6	41.2	39.6	4.0	4.6	0.7	2.3	48.8	9.2	
F2 年齢(10歳階級)	20～29歳	118	7.6	41.5	42.4	0.8	7.6	0.0	0.0	49.2	8.5
	30～39歳	197	6.6	40.1	41.1	2.5	6.6	1.0	2.0	46.7	10.2
	40～49歳	262	7.3	46.6	35.9	3.1	5.7	0.4	1.1	53.8	9.2
	50～59歳	246	6.9	41.9	40.7	3.3	4.1	0.0	3.3	48.8	7.3
	60～69歳	310	6.1	45.2	36.1	7.4	2.6	1.3	1.3	51.3	11.3
	70歳以上	469	9.2	36.2	41.6	4.3	4.1	0.6	4.1	45.4	9.0

「住みやすい」(\*1)は「とても住みやすい」「住みやすい」の合計。

「住みにくい」(\*2)は「以前は住みやすかったが、最近住みにくくなっている」「住みにくい」「とても住みにくい」の合計

問2 あなたのお住まいの地域の住みやすいと思われる点を教えてください。(〇はいくつでも)

・「緑(公園)が多い」が最も多く49.7%で、約半数が挙げている。次いで「交通の便がよい」が41.3%、「買い物がしやすい」が40.1%、「医療機関が近くにある」が37.5%で、これら3つは4割前後が挙げている。以下「治安がよい」(28.5%)、「保育園・幼稚園や小中学校など



が近い」(27.8%)、「近所づきあいができる」(22.2%)などと続き、自然環境に優れ、利便性も高いことが評価されている。

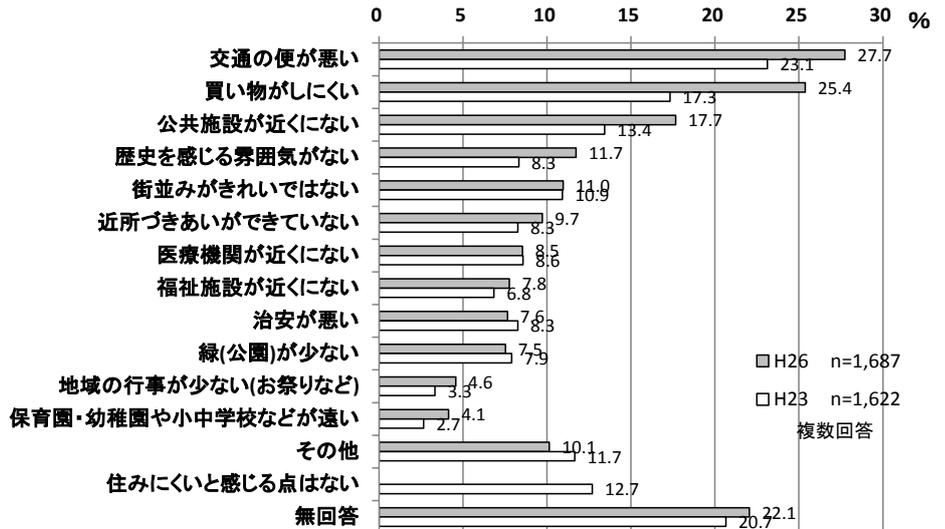
・それぞれの地区で最も多くなっている項目は、旭中央、万騎が原、希望が丘南、旭北、上白根、川井、若葉台、笹野台、二俣川ニュータウン、旭南部、左近山、市沢では「緑(公園)が多い」、鶴ヶ峰、さちが丘、希望が丘、二俣川、希望が丘東では「交通の便がよい」、今宿では「買い物がしやすい」が、それぞれ最多となっている。白根では「緑(公園)が多い」「買い物がしやすい」が同率である。

居住地区別 住みやすいと思われる点 (問2 × F3)

	合計	問2 住みやすいと思われる点													
		街並みがきれい	緑(公園)が多い	交通の便がよい	近所づきあいができる	地域の行事が盛ん(お祭りなど)	治安がよい	買い物がしやすい	医療機関が近くにある	福祉施設が近くにある	公共施設が近くにある	歴史を感じる雰囲気がある	中学校・幼稚園や小	保育園・幼稚園や小	その他
全体	1687	14.5	49.7	41.3	22.2	12.6	28.5	40.1	37.5	10.7	14.6	2.9	27.8	1.4	7.8
F3 お住まいの町(連合別)															
鶴ヶ峰地区町内会連合会	149	11.4	40.3	54.4	20.8	12.1	25.5	50.3	38.9	11.4	28.2	8.1	28.2	0.7	6.0
白根地区町内会自治会連合会	107	8.4	47.7	37.4	16.8	4.7	26.2	47.7	31.8	8.4	29.9	6.5	25.2	1.9	6.5
旭北地区連合自治会	123	21.1	56.9	22.8	22.8	14.6	28.5	52.0	38.2	13.8	17.1	3.3	35.8	4.1	2.4
上白根連合自治会	70	12.9	70.0	30.0	27.1	10.0	12.9	31.4	50.0	20.0	7.1	4.3	30.0	1.4	10.0
今宿地区町内会自治会連合会	75	5.3	36.0	30.7	26.7	12.0	17.3	41.3	33.3	17.3	22.7	4.0	30.7	1.3	10.7
川井地区町内会自治会連合会	83	4.8	42.2	18.1	31.3	10.8	16.9	14.5	24.1	12.0	10.8	2.4	31.3	3.6	19.3
若葉台連合自治会	98	32.7	93.9	24.5	17.3	39.8	35.7	42.9	73.5	20.4	24.5	1.0	33.7	2.0	3.1
笹野台地区連合自治会	85	15.3	49.4	45.9	27.1	16.5	29.4	31.8	38.8	15.3	7.1	2.4	16.5	0.0	7.1
希望が丘連合自治会	56	3.6	26.8	67.9	16.1	10.7	28.6	53.6	39.3	1.8	8.9	0.0	32.1	0.0	10.7
希望が丘東地区連合自治会	121	15.7	42.1	45.5	27.3	10.7	43.0	35.5	33.1	9.9	9.9	0.8	38.0	0.8	4.1
希望が丘南地区連合自治会	78	16.7	44.9	32.1	17.9	7.7	30.8	17.9	20.5	15.4	3.8	2.6	20.5	2.6	12.8
さちが丘地区連合自治会	55	9.1	30.9	60.0	21.8	5.5	40.0	52.7	47.3	3.6	9.1	3.6	29.1	0.0	3.6
万騎が原連合自治会	72	22.2	69.4	54.2	20.8	6.9	34.7	31.9	33.3	1.4	2.8	0.0	19.4	1.4	4.2
二俣川地区連合自治会	91	4.4	22.0	67.0	16.5	4.4	20.9	65.9	46.2	4.4	14.3	1.1	16.5	1.1	6.6
二俣川ニュータウン連合町内会	95	34.7	50.5	44.2	25.3	14.7	43.2	28.4	44.2	9.5	12.6	3.2	29.5	0.0	5.3
旭中央地区連合町内会	39	10.3	53.8	35.9	12.8	7.7	38.5	38.5	20.5	2.6	30.8	7.7	10.3	0.0	10.3
旭南部地区連合自治会	82	1.2	59.8	50.0	19.5	13.4	18.3	47.6	26.8	7.3	11.0	2.4	39.0	1.2	6.1
左近山連合自治会	69	21.7	65.2	44.9	15.9	18.8	30.4	53.6	37.7	15.9	13.0	1.4	30.4	0.0	8.7
市沢地区連合町内会	55	12.7	52.7	21.8	43.6	14.5	29.1	21.8	16.4	7.3	7.3	0.0	25.5	0.0	12.7

問3 あなたのお住まいの地域の住みにくいと思われる点を教えてください。(〇はいくつでも)

・「交通の便が悪い」が最も多く27.7%、次いで「買い物がしにくい」が25.4%で、住みやすさとして評価された利便性に関する項目がこちらでも上位に挙がっている。次いで「公共施設が近くにない」(17.7%)、「歴史を感じる雰囲気がない」(11.7%)、「街並みがきれいではない」(11.0%)などと続く。



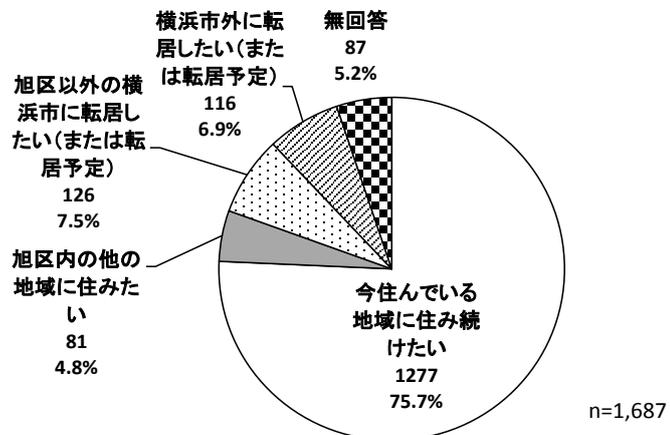
・年齢別では、30歳代と70歳以上で「買い物がしにくい」、それ以外の年代では「交通の便が悪い」が最も多くなっている。

年齢別 住みにくいと感ずる点 (問3×F2)

		問3 住みにくいと感ずる点															
		合計	街並みがきれいではない	緑(公園)が少ない	交通の便が悪い	近所づきあいができていない	(地域の行事が少ない(お祭りなど))	治安が悪い	買い物がしにくい	医療機関が近くにない	福祉施設が近くにない	公共施設が近くにない	歴史を感じる雰囲気がない	中学校・幼稚園や小	保育園・幼稚園や小	その他	無回答
全体		1687	11.0	7.5	27.7	9.7	4.6	7.6	25.4	8.5	7.8	17.7	11.7	4.1	10.1	22.1	
F2 年齢(10歳階級)	20~29歳	118	14.4	6.8	33.1	11.9	0.8	13.6	24.6	7.6	1.7	14.4	16.9	2.5	11.0	12.7	
	30~39歳	197	9.1	9.6	29.9	5.1	6.1	7.6	32.0	11.2	2.5	16.8	5.6	7.6	17.8	12.2	
	40~49歳	262	11.5	7.6	29.4	8.4	5.0	11.5	22.9	9.2	5.7	15.6	9.9	8.0	17.6	18.7	
	50~59歳	246	11.0	6.9	27.6	5.7	4.1	6.9	26.0	8.1	11.0	22.0	13.0	3.3	6.9	19.9	
	60~69歳	310	12.3	6.8	31.6	10.0	3.9	8.7	24.2	7.4	8.4	18.1	12.3	2.3	8.7	21.9	
	70歳以上	469	9.0	7.7	23.0	13.4	5.3	3.6	24.9	7.7	10.4	18.3	12.8	3.0	5.5	30.3	

問4 あなたは、これからもずっと今お住まいの地域に住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

・「今住んでいる地域に住み続けたい」が75.7%で圧倒的に多く、全体の4分の3を占める。次いで「旭区以外の横浜市に転居したい(または転居予定)」が7.5%、「横浜市外に転居したい(または転居予定)」が6.9%、「旭区内の他の地域に住みたい」が4.8%となっている。「今住んでいる地域に住み続けたい」「旭区内の他の地域に住みたい」を合わせると83.5%で、旭区への定住意向は8割を超える高い数値となっている。

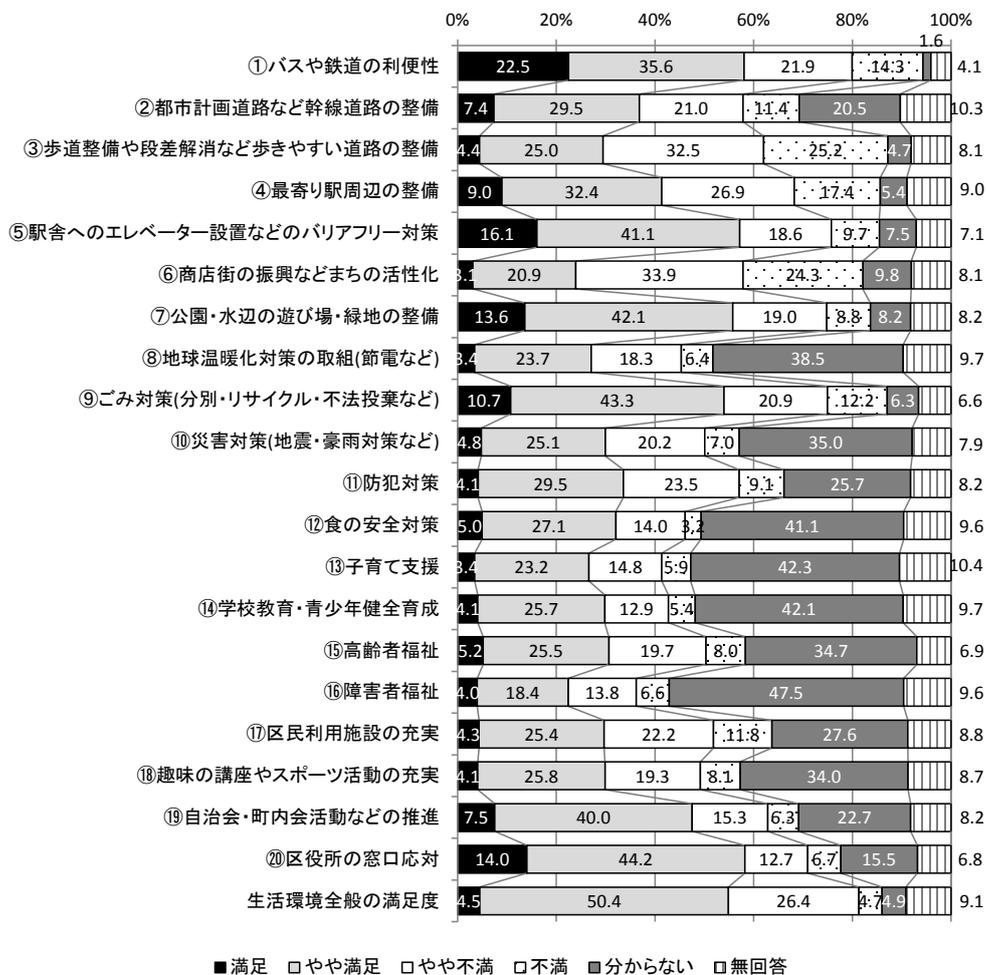


## 2. 生活環境について

問 5 旭区の生活環境についてお聞きします。あなたは ① ~ ⑳ について、

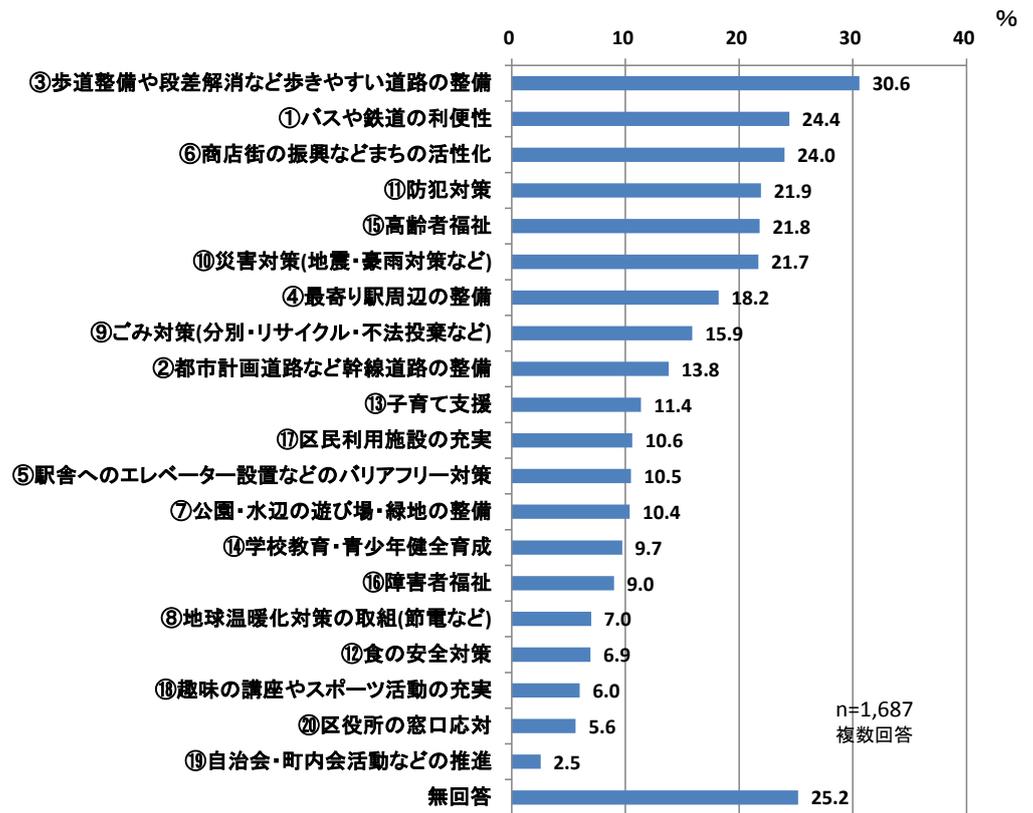
【1】現在、どの程度満足していますか。(○は1つ)

- ・「バスや鉄道の利便性」「都市計画道路など幹線道路の整備」「最寄り駅周辺の整備」「駅舎へのエレベーター設置などのバリアフリー対策」「公園・水辺の遊び場・緑地の整備」「ごみ対策(分別・リサイクル・不法投棄など)」「防犯対策」「自治会・町内会活動などの推進」「区役所の窓口対応」の9項目で「やや満足」が最も多くなっている。また「生活環境全般の満足度」についても「やや満足」が最も多くなっている。
- ・「歩道整備や段差解消など歩きやすい道路の整備」「商店街の振興などまちの活性化」では「やや不満」が最も多くなっている。
- ・「地球温暖化対策の取組(節電など)」「災害対策(地震・豪雨対策など)」「食の安全対策」「子育て支援」「学校教育・青少年健全育成」「高齢者福祉」「障害者福祉」「区民利用施設の充実」「趣味の講座やスポーツ活動の充実」の9項目については「分からない」が最も多くなっている。

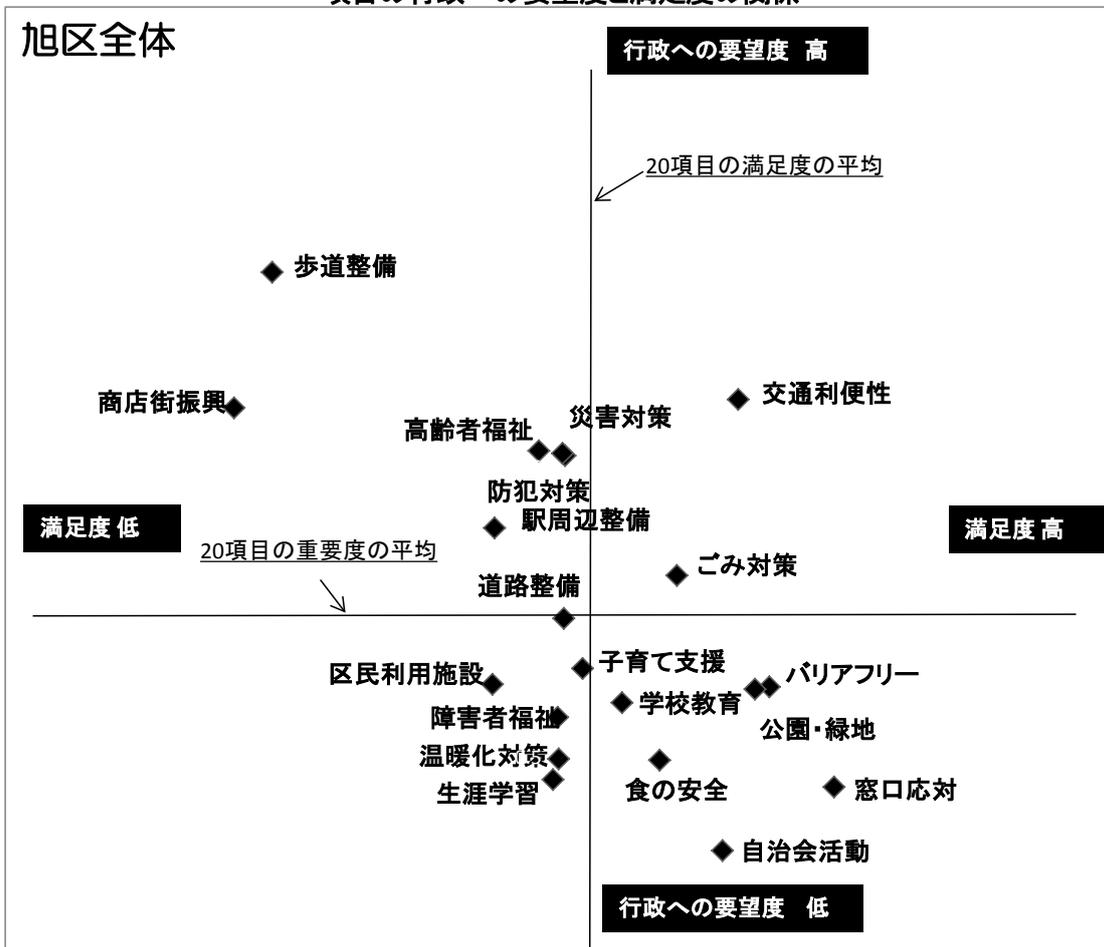


【2】また、行政に特に取り組んでもらいたいものは何ですか。(〇は5つまで)

・「歩道整備や段差解消など歩きやすい道路の整備」が最も多く30.6%で、3割の人が挙げている。次いで「バスや鉄道の利便性」が24.4%、「商店街の振興などまちの活性化」が24.0%でほぼ並ぶ。以下「防犯対策」(21.9%)、「高齢者福祉」(21.8%)、「災害対策(地震・豪雨対策など)」(21.7%)を2割以上の人が挙げている。



項目の行政への要望度と満足度の関係

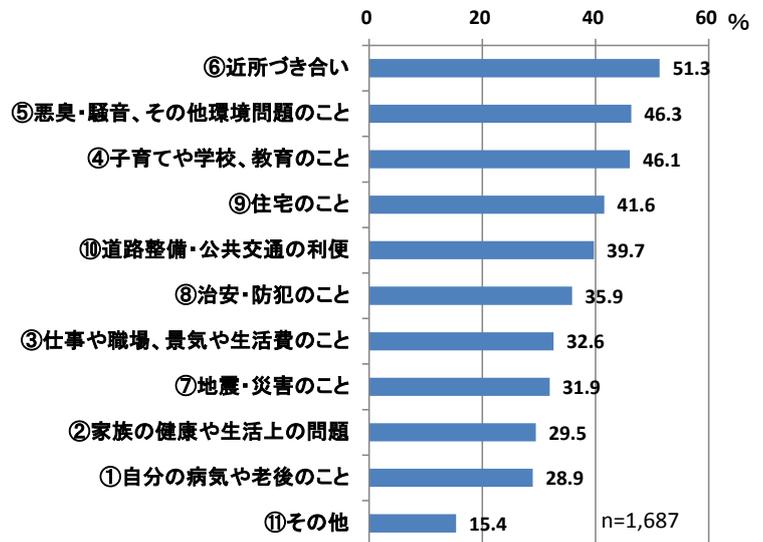


### 3. 心配ごとや困りごとについて

#### 問6 最近心配ごとや困っていることがありますか。

心配ごとや困っていることがある場合は、それぞれに相談する先をお答え下さい。

・「心配ごとや困っていることはない」との回答が最も多かったのは「近所づき合い」で、51.3%が困りごとはないとしている。次いで「悪臭・騒音、その他環境問題のこと」（46.3%）、「子育てや学校、教育のこと」（46.1%）、「住宅のこと」（41.6%）を4割以上が挙げている。「心配ごとや困っていることはない」との回答が少なかったのは「自分の病気や老後のこと」（28.9%）、「家族の健康や生活上の問題」（29.5%）で、健康上の問題が中心となっている。



・心配ごとや困っていることの相談先として

では、「道路整備・公共交通の利便」「その他」では「相談しない」が最も多くなっているが、それ以外の項目では全て「家族」が最も多くなっている。特に「自分の病気や老後のこと」「家族の健康や生活上の問題」では4割以上の人々が家族に相談するとしている。

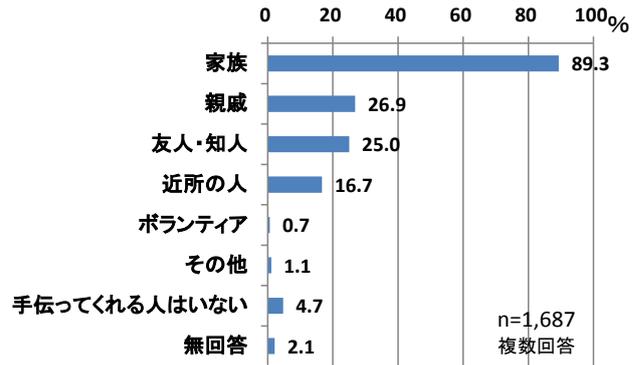
心配ごとや困りごとの相談先

	全体 (件数)	心配ごと や困って いない	心配ごと や困って いること がある	家族	親戚	友人・ 知人	イン ター ネッ トの 掲示 板等	近所 の 人	民生 委 員・ 児 童 委 員	自治 会・ 町 内 会 役 員	区役 所	専門 の 相 談 機 関	警察	その他	相談 し な い	無回 答
①自分の病気や老後のこと	1687	28.9	60.3	46.7	9.6	17.1	3.3	2.5	0.7	0.2	3.1	5.5	0.1	1.4	4.8	10.8
②家族の健康や生活上の問題	1687	29.5	56.3	42.5	9.8	12.6	2.5	1.4	0.8	0.3	2.5	5.2	0.1	1.2	4.6	14.3
③仕事や職場、景気や生活費のこと	1687	32.6	49.0	30.6	4.1	15.6	1.8	0.9	0.2	0.0	1.8	2.0	0.0	1.5	8.1	18.4
④子育てや学校、教育のこと	1687	46.1	30.8	18.8	3.6	12.0	1.4	2.3	0.5	0.3	1.4	1.8	0.1	1.8	5.2	23.1
⑤悪臭・騒音、その他環境問題のこと	1687	46.3	34.5	10.5	0.9	4.0	0.8	5.3	0.0	5.0	6.3	1.8	3.1	1.5	7.8	19.2
⑥近所づき合い	1687	51.3	29.6	13.5	1.5	7.5	0.4	6.6	0.3	1.5	0.3	0.4	0.2	0.8	7.4	19.0
⑦地震・災害のこと	1687	31.9	50.7	30.5	4.5	8.1	3.0	6.4	0.1	5.5	4.4	2.1	0.7	1.3	6.2	17.4
⑧治安・防犯のこと	1687	35.9	45.5	20.5	2.4	6.8	1.2	6.7	0.2	5.7	1.7	1.2	10.7	1.1	6.1	18.6
⑨住宅のこと	1687	41.6	40.1	24.7	2.8	5.7	1.3	2.3	0.1	1.4	1.5	3.6	0.1	1.9	5.7	18.3
⑩道路整備・公共交通の利便	1687	39.7	39.2	10.4	1.5	5.2	1.4	2.7	0.1	2.9	5.2	1.8	0.5	1.8	15.5	21.1
⑪その他	1687	15.4	3.1	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4	2.0	81.6

注) ■ は「心配ごとや困っていることはない」「相談しない」「無回答」を除いた上位3位

**問7 あなたには、病気や緊急時などに手伝ってくれる人はいますか。(〇はいくつでも)**

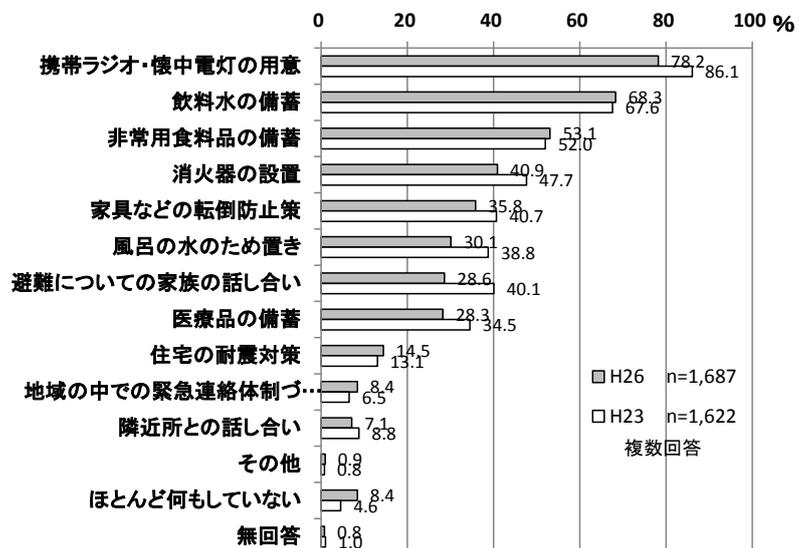
- ・「家族」が突出して多く 89.3%で、9割近い人が挙げている。次いで「親戚」(26.9%)、「友人・知人」(25.0%)を2割以上の人が挙げている。以下「近所の人」(16.7%)、「ボランティア」(0.7%)、「その他」(1.1%)と続き、「手伝ってくれる人はいない」は4.7%となっている。



**4. 防災について**

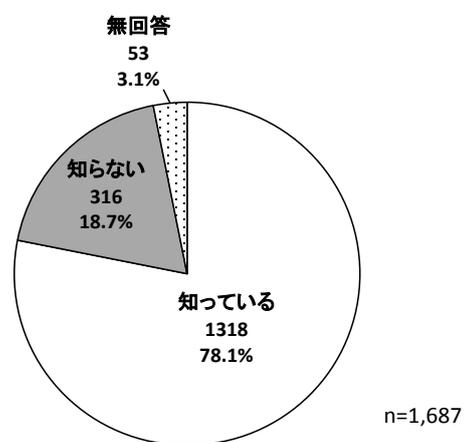
**問8 防災についてお聞きします。あなたの家庭では、震災などの災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも)**

- ・「携帯ラジオ・懐中電灯の用意」が78.2%で最も多く、8割弱の人が挙げている。次いで「飲料水の備蓄」が68.3%で、7割弱である。以下「非常用食料品の備蓄」(53.1%)、「消火器の設置」(40.9%)、「家具などの転倒防止策」(35.8%)、「風呂の水のため置き」(30.1%)などと続き、「ほとんど何もしていない」は8.4%で1割に満たない。
- ・平成23年度調査と比較すると、上位



**問9 あなたの地域には地域防災拠点(震災時避難場所)がありますが、ご自分の地域防災拠点(震災時避難場所)がどこか知っていますか。(〇は1つ)**

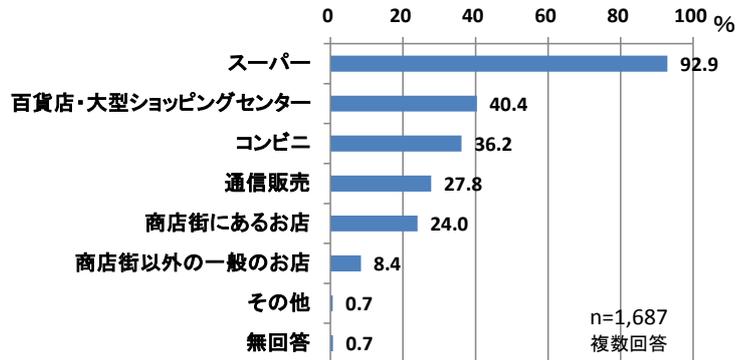
- ・「知っている」が78.1%と8割弱で、「知らない」の18.7%を76.3ポイント上回っており、認知度は高い。
- ・平成23年度調査と比較すると、「知っている」が4.2ポイント減少している一方、「知らない」が3.2ポイント上昇し、認知度はわずかながら低下している。



## 5. 普段の買い物について

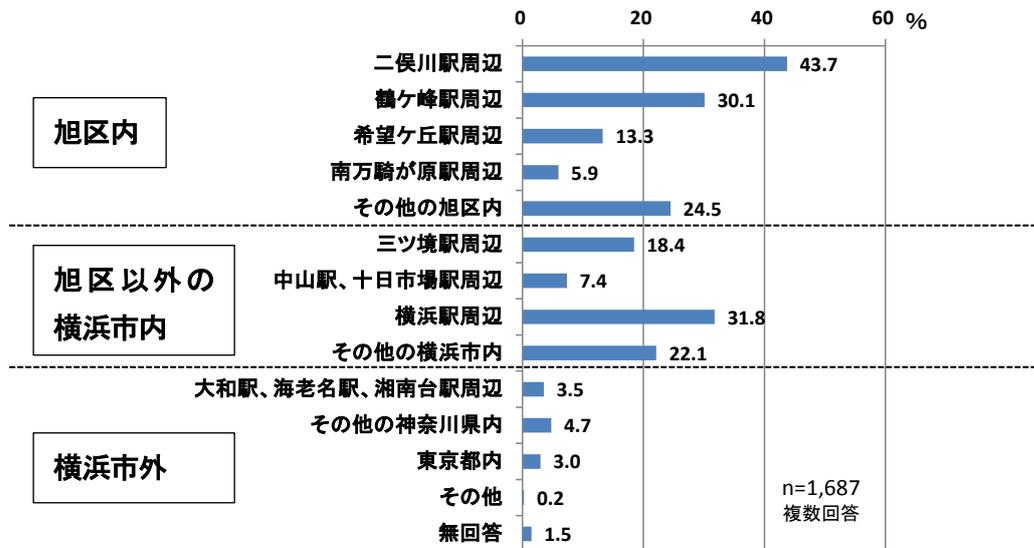
問10 あなたが普段の買い物(食料品、日用雑貨、普段着など)をしているお店はどこですか。(〇は3つまで)

- ・「スーパー」が92.9%で9割を超えている人が挙げており、圧倒的に多い。次いで「百貨店・大型ショッピングセンター」が40.4%、「コンビニ」が36.2%となっている。



問11 あなたが普段の買い物(食料品、日用雑貨、普段着など)をしている場所はどこですか。(〇は3つまで)

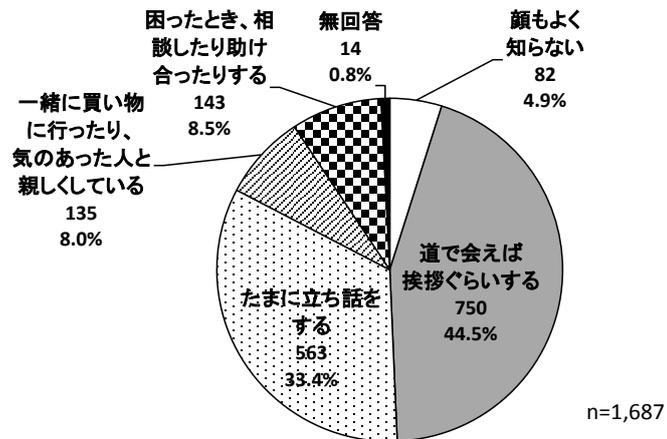
- ・「二俣川駅周辺」が最も多く、43.7%の人が挙げています。次いで「横浜駅周辺」が31.8%、「鶴ヶ峰駅周辺」が30.1%となっており、これらは約3割が挙げています。以下「その他の旭区内」(24.5%)、「その他の横浜市内」(22.1%)などと続きます。



## 6. 近所つき合いや交流について

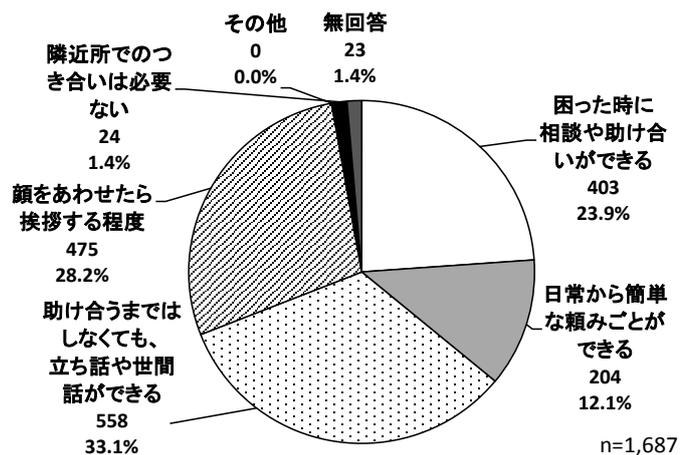
### 問12 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

・「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多く 44.5%で、全体の半数弱を占める。次いで「たまに立ち話をする」が 33.4%である。「困ったとき、相談したり助け合ったりする」は 8.5%、「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」は 8.0%で、これらを合わせると比較的親密な付き合い方をしているのは 16.5%である。「顔もよく知らない」は 4.9%となっている。



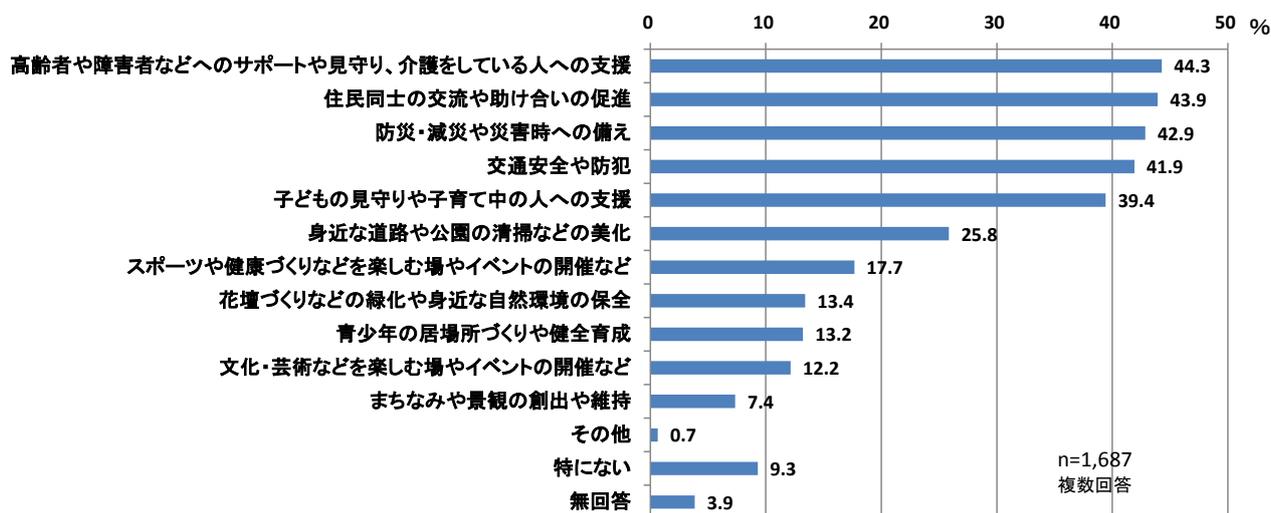
### 問13 あなたは、隣近所とどの程度のつき合いを望んでいますか。(〇は1つ)

・「助け合うまではしなくても、立ち話や世間話ができる」が 33.1%で、全体の約3分の1となっている。次いで「顔をあわせたら挨拶する程度」が 28.2%で、これらを合わせると 61.3%と、濃い付き合いは望まず、あいさつや立ち話程度のつき合いを望む意見が6割となっている。また、「困った時に相談や助け合いができる」は 23.9%と現状（「困ったとき、相談したり助け合ったりする」8.5%）より 15.4ポイント高くなっている。「日常から簡単な頼みごとができる」も 12.1%である。「隣近所でのつき合いは必要ない」は 1.4%で、ごく少数にとどまっている。



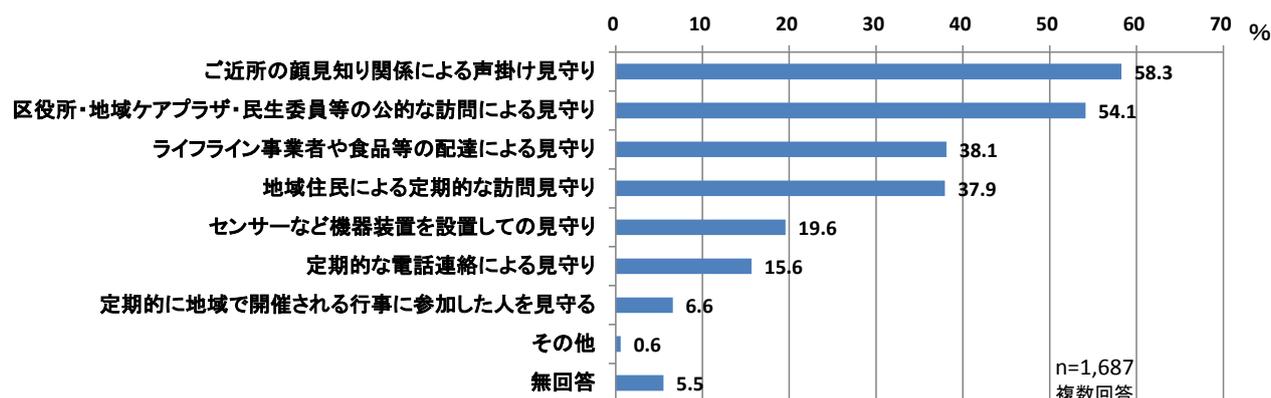
**問14 あなたのお住まいの地域で、地域の住民同士が取り組むべきものには、どのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)**

- ・「高齢者や障害者などへのサポートや見守り、介護をしている人への支援」が44.3%で最も多く、「住民同士の交流や助け合いの促進」(43.9%)、「防災・減災や災害時への備え」(42.9%)、「交通安全や防犯」(41.9%)、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」(39.4%)が4割前後で続いている。以下「身近な道路や公園の清掃などの美化」(25.8%)などと続く。「特にない」は9.3%である。



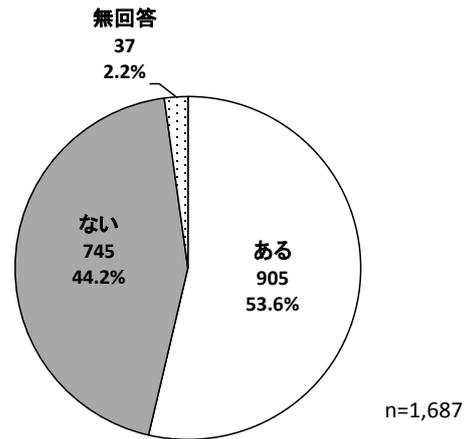
**問15 地域で孤立している高齢者などに対して、どのような見守りが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)**

- ・「ご近所の顔見知り関係による声掛け見守り」が58.3%で最も多く、「区役所・地域ケアプラザ・民生委員等の公的な訪問による見守り」が54.1%でこれに続く。次いで「ライフライン事業者や食品等の配達による見守り」(38.1%)、「地域住民による定期的な訪問見守り」(37.9%)などとなっている。



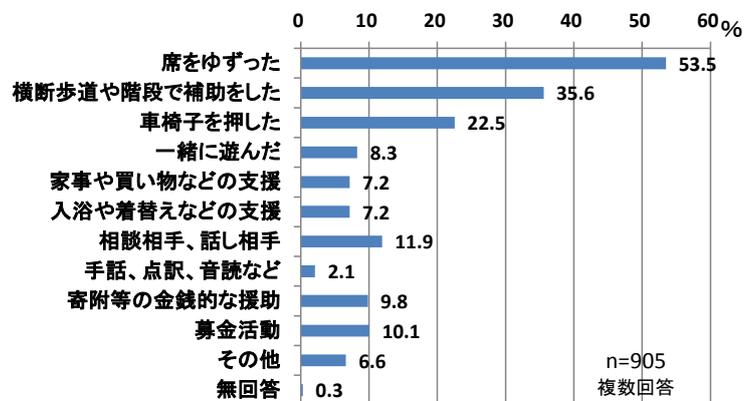
**問16 あなたは、障害のある人のサポートをしたことがありますか。(〇は1つ)**

- ・「ある」が 53.6%で過半数に達し、「ない」の 44.2%を 9.4 ポイント上回っている。



**問16-1 それはどのようなことでしたか。(問16で「1」を選んだ方、〇は1つ)(複数回答扱い)**

- ・「席をゆずった」が 53.5%で最も多く、半数強の人が挙げている。次いで「横断歩道や階段で補助をした」が 35.6%、「車椅子を押した」が 22.5%と続く。以下「一緒に遊んだ」(8.3%)、「家事や買い物などの支援」(7.2%)、「入浴や着替えなどの支援」(7.2%)、「相談相手、話し相手」(11.9%)、「手話、点訳、音読など」(2.1%)、「寄附等の金銭的な援助」(9.8%)、「募金活動」(10.1%)、「その他」(6.6%) などとなっている。

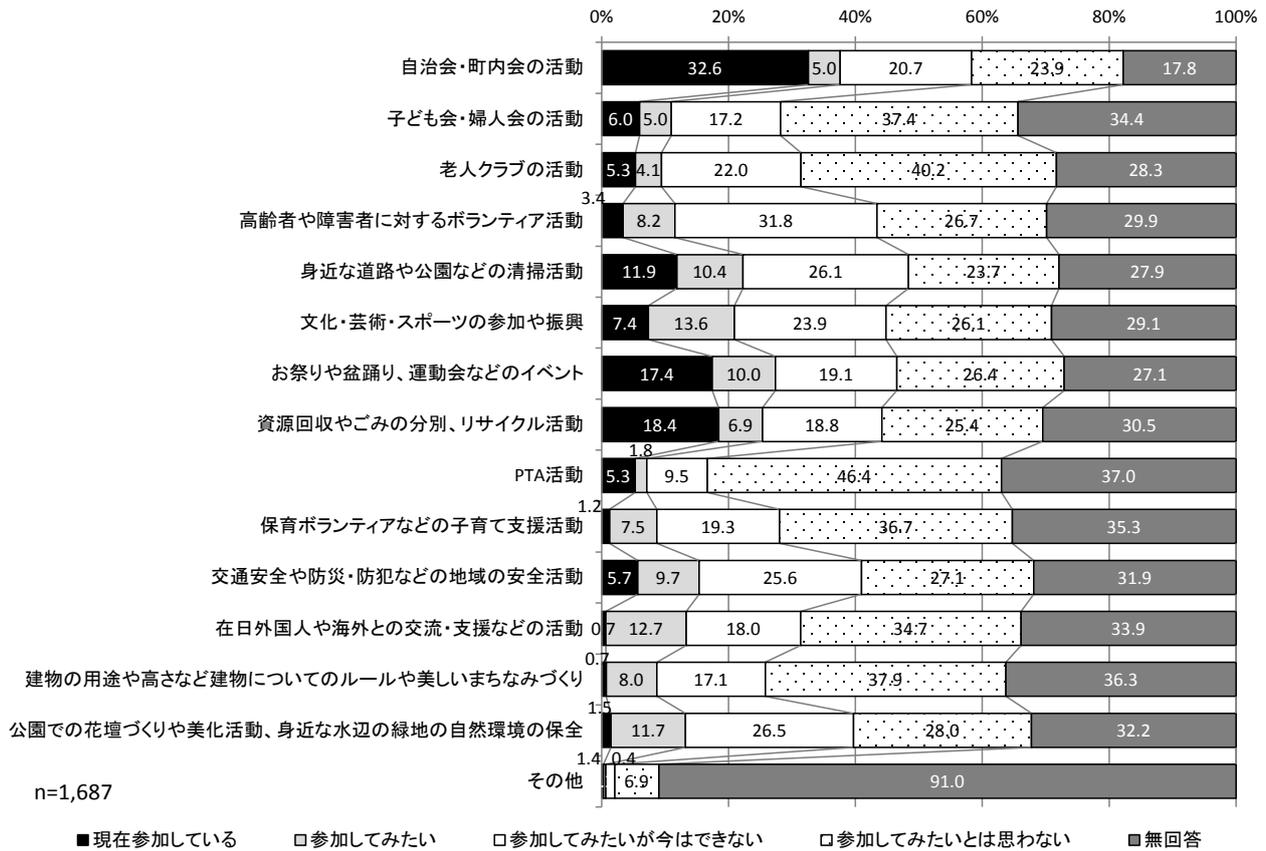


## 7. 地域の活動への参加及び参加意向について

問17 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような地域活動に参加していますか。

また、現在参加していない活動に今後参加してみたいですか。(〇はいくつでも)

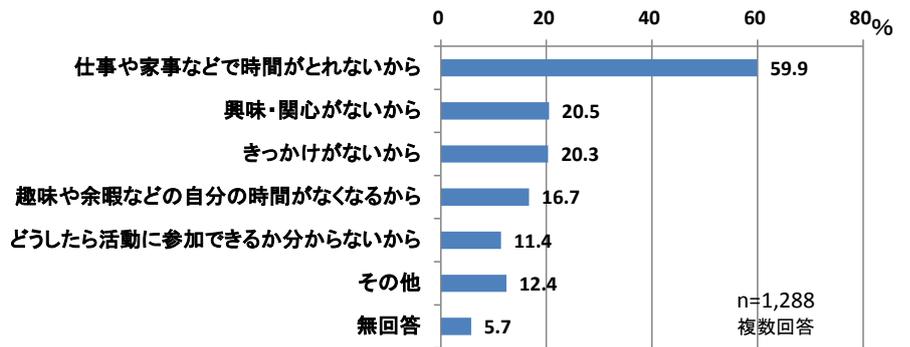
- ・「現在参加している」が最も多くなっているのは「自治会・町内会の活動」(32.6%)のみである。「参加してみたいが今はできない」が最も多くなっているのは「高齢者や障害者に対するボランティア活動」(31.8%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(26.1%)の2項目である。これ以外については「参加してみたいとは思わない」が最も多く、特に「PTA活動」では46.4%と半数近くに達している。



**問17-1 参加できない/しない理由はなんですか。(問17で「3参加してみたいが今はできない」「4参加してみたいとは思わない」を1つでも選んだ方、〇はいくつでも)**

・「仕事や家事などで時間がとれないから」が最も多く59.9%で、約6割の人が挙げており、回答が集中している。以下「興味・関心がないから」(20.5%)、「きっかけがないから」(20.3%)が2割強で続く。

・「その他」(12.4%)のうち159件の具体的な記述があり、計161の理由が挙げられた。最も多かったのは「健康上の理由」77件で、次いで「高齢のため」が31件となっている。

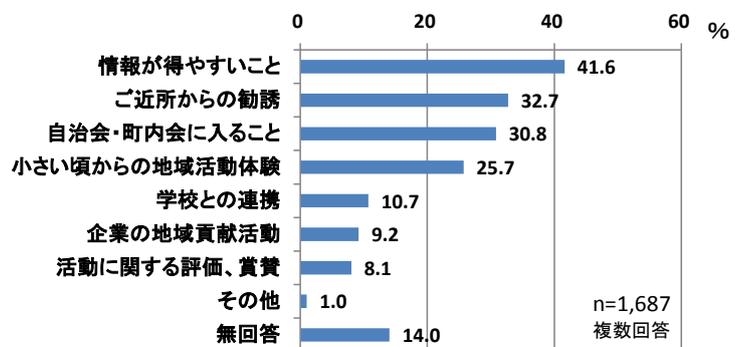


**その他のな内容**

理由	件数
健康上の理由	77
高齢のため	31
子どもが小さいため	13
家族の介護、看護のため	12
人間関係がよくない	6
以前やったから	5
人と関わりたくない	5
他の活動に参加しているため	3
転居予定があるため	2
その他 (65歳以上になったら考えた、学業が多忙、既に活動している人がいる、気軽に参加できる仕組みがない、求職中のため、経済的な理由、子どもがいないから 各1)	7
総計	161

**問18 あなたは、より多くの方が、地域活動に参加するためには、どんなきっかけがあったらいいと思いますか。(〇はいくつでも)**

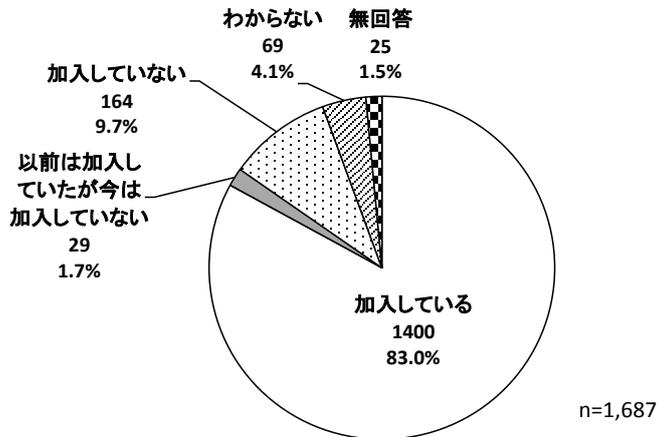
・「情報が得やすいこと」が41.6%で最も多く、4割強の人が挙げている。次いで「ご近所からの勧誘」が32.7%、「自治会・町内会に入ること」が30.8%、「小さい頃からの地域活動体験」が25.7%などとなっている。



## 8. 自治会・町内会活動について

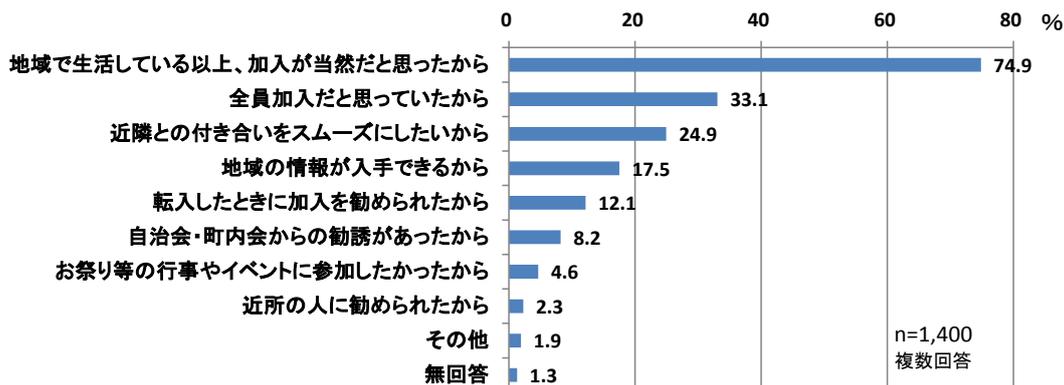
### 問19 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(〇は1つ)

- ・「加入している」が83.0%と8割を超え、加入率は高くなっている。「加入していない」は9.7%、「以前は加入していたが今は加入していない」は1.7%で、これらを合わせると11.4%と、未加入率は1割強である。「わからない」は4.1%となっている。



### 問19-1 自治会・町内会に加入している理由は何ですか。(問19で「1」を選んだ方、〇はいくつでも)

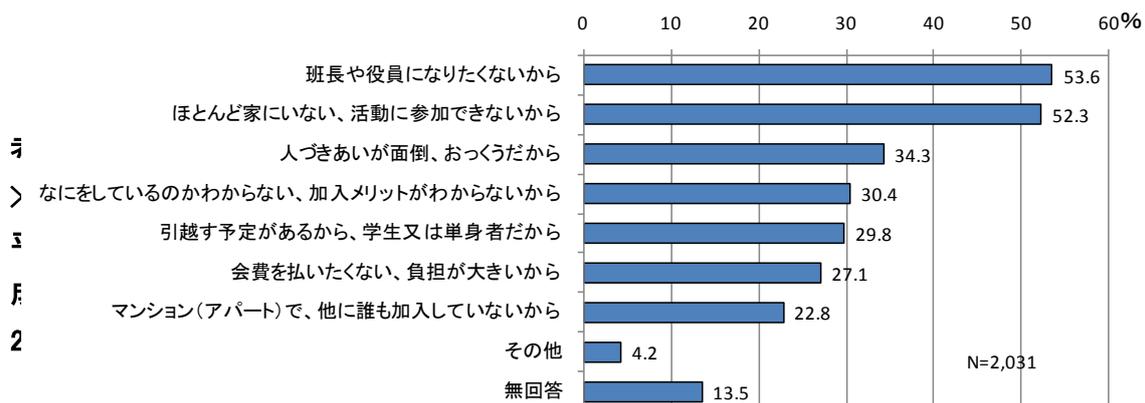
- ・「地域で生活している以上、加入が当然だと思ったから」が74.9%で最も多く、突出している。以下「全員加入だと思っていたから」(33.1%)、「近隣との付き合いをスムーズにしたいから」(24.9%)、「地域の情報が入手できるから」(17.5%)などとなっている。



### 問19-2 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(問19で「2」「3」を選んだ方、〇はいくつでも)

- ・「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」が28.5%で最も多く、次いで「何をしているのかわからない、加入メリットがわからないから」(22.8%)、「マンション(アパート)で、他に誰も加入していないから」(19.7%)、「班長や役員になりたくないから」(18.1%)が2割前後で続く。

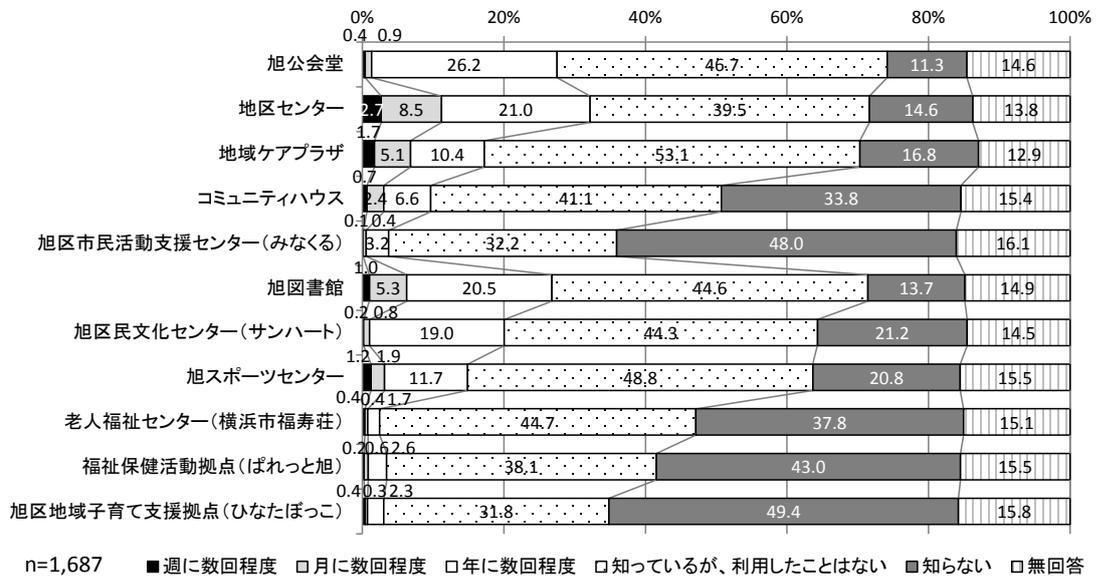
参考



## 9. 旭区内の公的施設の利用について

問20 区内の施設について、「利用の有無」と、利用している場合の「利用頻度」をお答えください。(○は1つ)

- ・「旭公会堂」
- 「地区センター」「地域ケアプラザ」「コミュニティハウス」
- 「旭図書館」「旭区民文化センター(サンハート)」
- 「旭スポーツセンター(サンハート)」
- 「老人福祉センター(横浜市福寿荘)」
- 「旭スポーツセンター」
- 「老人福祉センター(横浜市福寿荘)」



「旭区市民活動支援センター(みなくる)」「旭図書館」の8施設については「知っているが、利用したことはない」が最も多い。

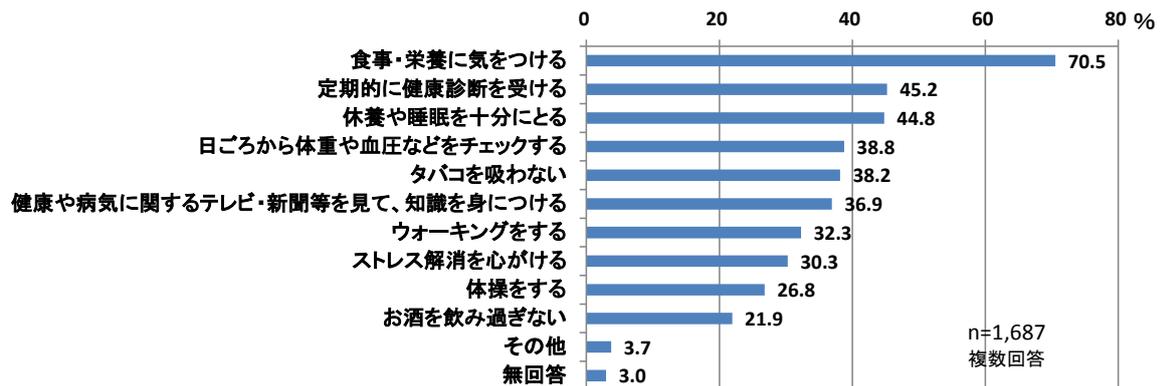
「旭区民文化センター(サンハート)」については「知らない」が最も多く、認知度が低い。

- ・「週に数回程度」「月に数回程度」「年に数回程度」を合わせ、年に数回以上利用されている率を見ると、最も高いのは「地区センター」の32.2%、次いで「旭公会堂」が27.5%、「旭図書館」が26.8%などとなっている。

## 10. 健康について

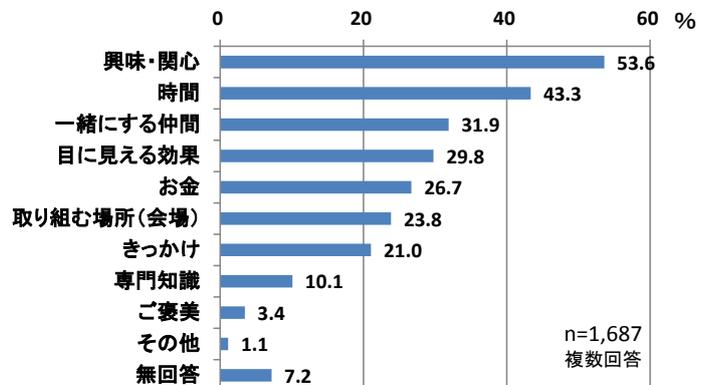
### 問21 普段、自分の健康づくりのために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「食事・栄養に気をつける」が最も多く70.5%で、約7割の人が挙げている。次いで「定期的に健康診断を受ける」が45.2%、「休養や睡眠を十分にとる」が44.8%で、これらは4割以上の人が挙げている。以下「日ごろから体重や血圧などをチェックする」(38.8%)、「タバコを吸わない」(38.2%)、「健康や病気に関するテレビ・新聞等を見て、知識を身につける」(36.9%)、「ウォーキングをする」(32.3%)、「ストレス解消を心がける」(30.3%)なども3割以上と、健康づくりのための取り組みは多岐にわたっている。



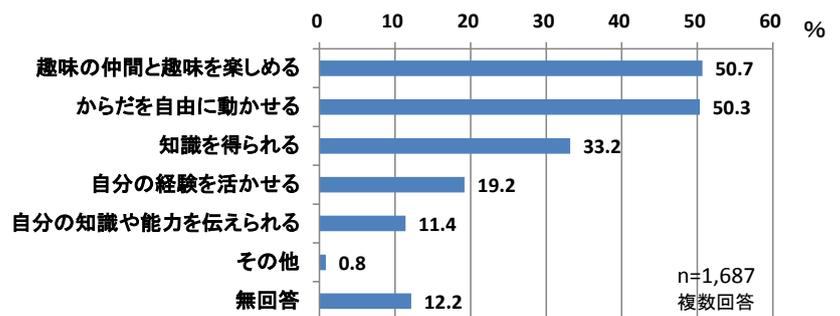
### 問22 自分の健康づくりの取り組みを継続させるために必要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「興味・関心」が53.6%で最も多く、過半数の人が挙げている。次いで「時間」が43.3%となっている。以下「一緒にする仲間」(31.9%)、「目に見える効果」(29.8%)、「お金」(26.7%)などと続く。



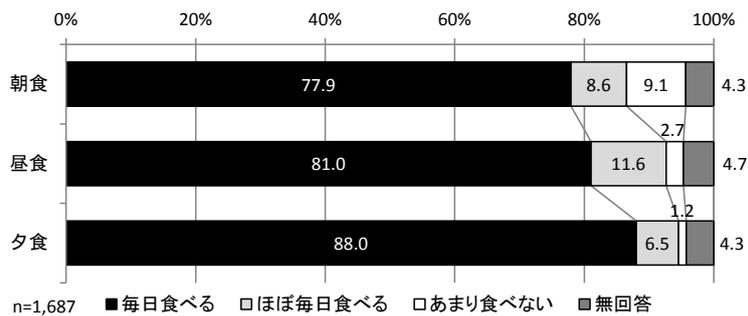
### 問23 「健康で自分らしい生活」や「生きがいを感じる生活」を送るためには、お住まいの地域にどのような「場」と「機会」があったらよいとおもいますか。(〇はいくつでも)

- ・「趣味の仲間と趣味を楽しむ」が50.7%、「からだを自由に動かせる」が50.3%で、ほぼ並んでいる。次いで「知識を得られる」(33.2%)を3割以上の人が挙げている。



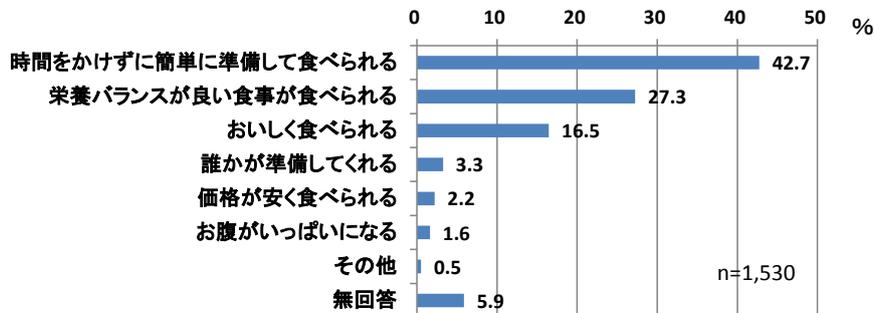
**問24 あなたの食生活についてお伺いします。あてはまるものに○をしてください。(各食事につき○は1つ)**

- ・朝食については、「毎日食べる」が 77.9%で8割に満たず、三食の中で最も低い。「あまり食べない」も 9.1%と、1割近くになっている。
- ・昼食については、「毎日食べる」が 81.0%で8割強である。「ほぼ毎日食べる」が 11.6%で、1割を超えている。
- ・夕食については、「毎日食べる」が 88.0%と、9割近くに達している。「あまり食べない」は 1.2%と、低い数値になっている。
- ・平成 23 年度「健康に関する市民意識調査」と比較すると、概ね同様の傾向となっている。



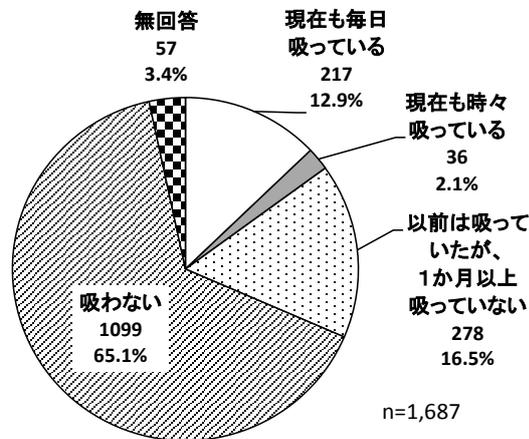
**問25 あなたは朝食を食べることに何をもっと重視しますか。(○は1つ)**

- ・「時間をかけずに簡単に準備して食べられる」が 42.7%で最も多く、忙しい時間帯に手間がかからないことが最も重視されている。次いで「栄養バランスが良い食事が食べられる」が 27.3%、「おいしく食べられる」が 16.5%となっている。



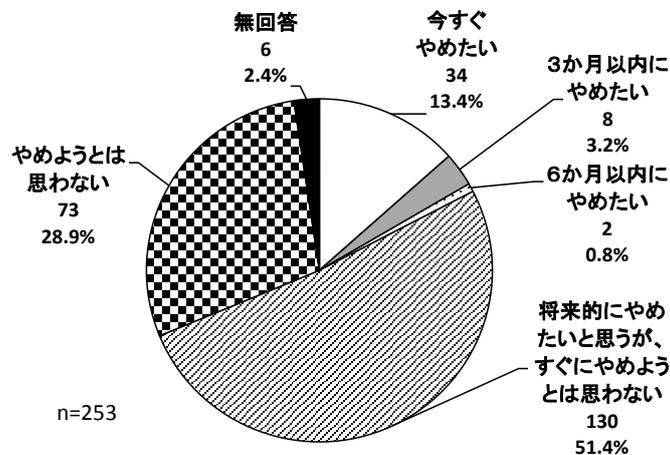
**問26 あなたは、これまでに習慣的にたばこを吸っていたことがありますか。(○は1つ)**

- ・「吸わない」が65.1%で、全体の6割以上を占める。次いで「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」の16.5%で、これらを合わせると8割以上に喫煙習慣がない。「現在も毎日吸っている」は12.9%、「現在も時々吸っている」は2.1%で、これらを合わせると喫煙率は15%である。



**問26-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(問26で「1」、「2」を選んだ方、○は1つ)**

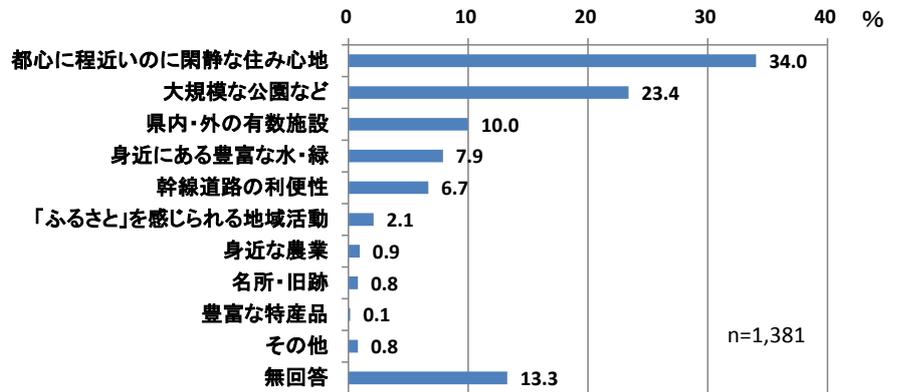
- ・「将来的にやめたいと思うが、すぐにやめようとは思わない」が51.4%で、半数強である。次いで「やめようとは思わない」が28.9%で、3割弱となっている。以下「今すぐやめたい」は13.4%、「3か月以内にやめたい」は3.2%、「6か月以内にやめたい」は0.8%となっている。



## 11. 将来の旭区が目指す姿について

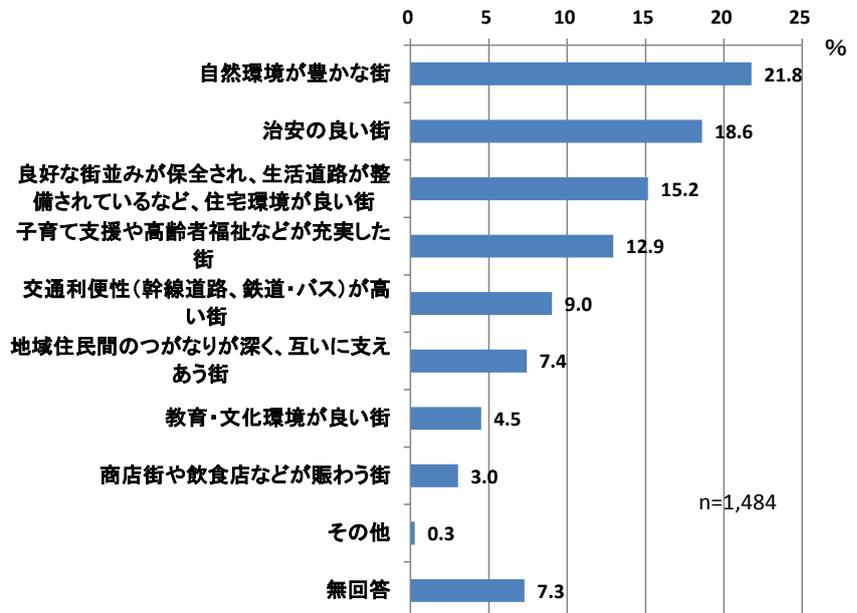
問27 あなたが、「現在の」旭区について友人や知人に誇れること・ものは何ですか。(〇は1つ)

・「都心に程近いのに閑静な住み心地」が34.0%で最も多く、次いで「大規模な公園など」が23.4%である。以下「県内・外の有数施設」(10.0%)、「身近にある豊富な水・緑」(7.9%)などと続き、住環境や公園・施設が評価されている。



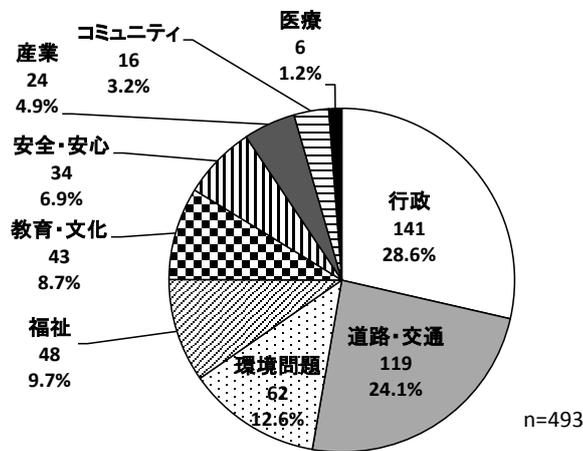
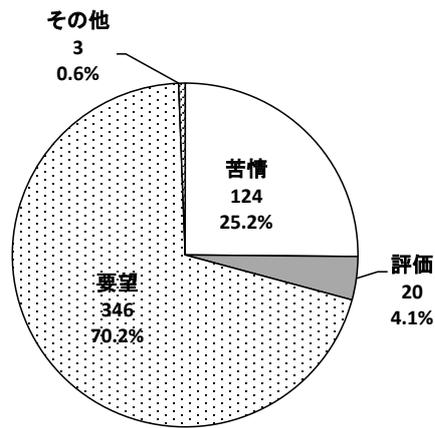
問28 あなたは、次世代(今の小学生が社会人になる頃を想定)に引き継ぎたい、「将来の」旭区の理想像はどんな街ですか。(〇は1つ)

・「自然環境が豊かな街」が21.8%で最も多く、「治安の良い街」が18.6%でこれに続く。以下「良好な街並みが保全され、生活道路が整備されているなど、住宅環境が良い街」(15.2%)、「子育て支援や高齢者福祉などが充実した街」(12.9%)、「交通利便性(幹線道路、鉄道・バス)が高い街」(9.0%)などとなり、優れた自然環境・住環境や安心・安全な街が望まれている。



## 12. 旭区役所の取組についての意見、提案

- 旭区役所の取組についての意見、提案(自由記述)には、355人が回答し、493件の意見があった。
- 意見の内容は多岐にわたるが、大きく「評価」「苦情」「要望」に区分してみると、全体の70.2%は「要望」であり、「苦情」は25.2%、「評価」は4.1%であった。
- 分野(大分類)別にみると、「行政について」が141件ともっとも多く、次いで、「道路・交通について」(119件)、「環境問題について」(62件)、「福祉について」(48件)、「教育・文化について」(43件)、「安全・安心について」(34件)、「産業について」(24件)、「コミュニティについて」(16件)、「医療について」(6件)の順となっている。





「旭区マスコットキャラクター あさひくん」

旭区区民意識調査にご協力いただき、ありがとうございました

発行 旭区 区政推進課 企画調整係

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰 1-4-12

電話 045-954-6026

FAX 045-951-3401

e-mail [as-kikaku@citv.vokohama.jp](mailto:as-kikaku@citv.vokohama.jp)